

議案第 20 号

小松市学校職員ソーシャルメディア利用管理規程の制定
について

小松市学校職員ソーシャルメディア利用管理規程を次のように制定
する。

小松市学校職員ソーシャルメディア利用管理規程

(目的)

第1条 この規程は、職員（小松市立学校に勤務するすべての職員をいう。以下同じ。）がソーシャルメディアを利用するにあたり、そのリスクを理解した上で、学校、保護者をはじめ、地域、一般ユーザーその他の利害関係者の利益や権利を害しないために、必要な事項を定めたものである。

(定義)

第2条 この規程で定めるソーシャルメディアとは、SNS（Facebook, mixi, instagram 等）、Twitter, YouTube, 電子掲示板、ブログなど、インターネットを利用してユーザーが相互にコミュニケーションを行うことのできる情報伝達媒体をいう。

(適用対象)

第3条 この規程は職員に適用する。

(基本原則)

第4条 職員は、ソーシャルメディアを利用する場合、次の各号に掲げる基本原則を理解し、遵守しなければならない。

- (1) 市立学校職員としての自覚と責任を持つこと。
- (2) 関連する法令を遵守すること。
- (3) ソーシャルメディアへの情報発信が半永久的に残ること、および瞬時に拡散し得ること等さまざまなリスクがあることを理解し、発信する情報の内容を慎重に吟味すること。

(禁止事項)

第5条 職員は、ソーシャルメディアを利用する場合、次の各号に掲げる情報を発信してはならない。なお、勤務時間外も同様とする。

- (1) 職務上知り得た秘密や個人情報を含む情報
- (2) 学校または第三者の権利を侵害する情報
- (3) 誹謗中傷、虚偽の内容を含む情報
- (4) 人種、思想、信条等の差別、または差別を助長させる情報
- (5) 違法行為または違法行為を煽る情報
- (6) わいせつな内容に関する情報
- (7) その他、法令、管理規則、その他の規程で禁止された情報

(前条に違反した場合)

第6条 職員が前条に違反して、自らが発信した情報により他者を傷つけたり、誤解を生じさせたりした場合、速やかに所属長に報告しなければならない。

2 所属長は、前項の規定により報告を受けたときは速やかに教育長に報告するものとする。

3 前条に違反した職員は、教育長の指示に従い、誠実に対応するとともに、迅速な削除または訂正、若しくは必要な協力を行わなければならない。なお、削除または訂正等の選択およびその具体的方法については、教育長の指示に従うものとする。

(懲戒)

第7条 この規程に違反する事実が認められた場合、県及び市の懲戒処分の指針に基づき対応を検討する。

(相談窓口等)

第8条 ソーシャルメディア利用に関する相談窓口およびこの規程に違反する事実の通報窓口は学校教育課長とする。

(規程外事項)

第9条 この規程に定めのない事項については、教育委員会で協議し決定する。

附 則

この規程は、公布の日から施行する。

第1回小松市立小中学校教育環境づくり検討委員会の開催について

1. 目的

小松市学校通学区域検討委員会の報告を受け、小松市立小中学校における望ましい教育環境の整備について、さらに具体的に検討を加え、方向性をまとめる。

2. 委員

	所 属	氏 名
学識経験者	金沢学院大学 教授	田 邊 俊 治
〃	栗津神経サトリウム 理事長	秋 山 典 子
〃	金沢大学 教授	眞 鍋 知 子
〃	大和こども園 園長	池 田 巧
学校関係者(中学校)	中学校長会	表 久美子
〃 (小学校)	小学校長会	北 川 雅 美

3. 審議内容と今後の予定

年	開催時期	審 議 内 容
令和元年	第1回 8月9日	○検討委員会の目的 ○現状の把握（現在の学校区、児童生徒数の動向） ○報告を受けての適正な教育環境について 【確認事項】 ○小松市学校通学区域検討委員会の報告書を参考に検討を深めていく ・複式学級は避ける ・小学校再編を優先して考える ・一小学校の児童数は100人以上を確保することを基本とする。 ○次回までに事務局が具体案を作成する。
	第2回 10月	事務局具体案の検討
令和2年	第3回 1月	提言書案の検討
	3月	教育委員会に提言書提出

※ 必要に応じて検討委員会を開催する。

小松市中学生サミット 第2回実行委員会 報告書

- 日 時 令和 元年 7月26日（金）13：00～ 27日（土）9：00
- 会 場 （昼の部）丸内中学校
（夜の部）里山自然学校 大杉みどりの里
- 参加者 （昼の部）各中学校サミット実行委員34名，サミット担当教員10名
（夜の部）各中学校サミット実行委員31名
- 講 師 兵庫県立大学 竹内 和雄 准教授
ソーシャルメディア研究会 7名

○活動内容

（昼の部）丸内中学校

- ①アイスブレイク・自己紹介
- ②ネットアンケートの結果分析・共有
- ③啓発動画作成（人間関係・危険・時間）／LINEスタンプの図案作製
- ④振り返り・感想



アイスブレイクで緊張ほぐし



啓発動画撮影のようす



意見・感想発表

（夜の部）大杉みどりの里

- ①夕食・入浴
- ②今後の取組に関する意見交換・各校の取組状況の共有
- ③レクリエーション・親睦交流
- ④作成動画視聴（27日朝）
- ⑤今後の取組について・振り返り・感想（27日朝）



意見交換のようす



レクリエーションのようす



花火のようす

○今後の取組

①各学校での取組・・・各校、学校独自の取組を随時行っていく。(継続)

※人間関係やいじめ等に関する取組

※11月16日(土)のサミット本番では、各校の取組を発表

②サミット知恵袋の作成・・・ネットでトラブルが起きた時の解決方法をQ & A方式で作成し、冊子にする。

※各校、実行委員が中心となってA4用紙1枚程度にまとめた物を作成する。

③通信(新聞等)の発行・・・各校分担して、実行委員会のように各校の取組を紹介する通信を作成する。

※下記の分担表にしたがい、各校1回発行する。(継続)

発行時期	7月上旬(発行済み)	9月上旬	12月上旬	随時
内容	第1回委員会の報告 各校の取組等	第2回委員会の報告 各校の取組等	サミット本番の報告 各校の取組等	各校の取組 小中連携等
担当校	国府中学校	松東中学校	板津中学校	その他の中学校

④小学校へ広げる・・・可能な限り各中学校での取組等を小学校と共有していく。

※小中連携主体的な児童生徒活動推進校を中心に進めていく。

○アンケート結果(実行委員会後、実行委員に実施)

非常に有意義であった	有意義であった	あまり有意義でなかった	まったく有意義でなかった
27	3	0	0

＜実行委員の感想(一部)より＞

- ・動画作成では、どうしたら伝わりやすいのか、わかりやすいのかをグループで考えながら作ることができました。周りの人の意見に共感したし、自分からも意見を出すことができ、全体としてよいものを作ることができました。合宿を通して、他校の実行委員との仲も深まり、これからのサミットが充実したものになると思いました。
- ・今回の合宿では、様々な人と交流することができた。動画づくりでは、グループの人と活発な意見交換ができ、動画内容をより深めることができた。夜の集いや朝の集いで「日本一の中学生」だと感じた。とても有意義な時間となった。

＜担当教員の感想(一部)より＞

- ・限られた時間の中で、工夫を凝らしたり互いに声を掛け合って協力しながら活動したりする様子を見て、今後の活動がさらに楽しみとなりました。
- ・他校の生徒とたくさん交流し活動する主体的な姿がたくさん見られました。生徒の姿から有意義であったと感じました。

○今後の日程

- ・11月15日(金) 16:00～ 第3回実行委員会(サミット本番準備)
- ・11月16日(土) 13:00～ 中学生サミット本番(各校発表等)

《図書館報告事項》 8月は子供たちの夏休みを応援します！

■ 夏休み☆ビブリオバトル 高校生大会 IN 小松市立図書館 2019

- 1 日 時 令和元年8月3日(土) 10:30～11:30
- 2 場 所 小松市立図書館 1 階 視聴覚室
- 3 バトラー 4名（以下表を参照）
- 4 観 戦 者 25 名（投票者 18 名）

ビブリオバトルとは、発表者がおすすめ本を5分間で紹介し、3分間の質疑応答の後、観戦者が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決める知的書評合戦。発表内容は以下のとおり。開催は5回目。

No.	高校名	姓	バトラー	タイトル	著者	出版社
1	小松高校	3	埴田 航平	リイカライ科学ノ教科書	くられ	ソシム
2	小松市立高校	1	桂 瑞樹	鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。	川上 和人	新潮社
3	小松高校	3	中西 陽菜	偽史日本伝	清水 義範	集英社文庫
4	小松市立高校	2	西手 美月	芋虫	江戸川乱歩	角川ホラー文庫

集計の結果、得票数8票で

チャンプ本は、小松高校3年の中西陽菜さんが紹介した「偽史日本伝」が選ばれた。

【感想】

- ☆ 学校でビブリオバトルクラブに入っているの、そこで生かしたい。(小学生)
- ☆ 自分たちの高校より面白かった。勝てる自信があるので、出てみたいと思った。(高校生)
- ☆ ちょうど良い時間に終わるバトラーがいて、自分の準備、計画性の無さを身にしみた。(バトラー)
- ☆ 学校にもう少し早く PR 用のポスターを配布くださると周知が徹底できる。(学校関係者)
- ☆ ギャラリーが少ないのが残念くらい素晴らしい発表ばかりだった。(40代)
- ☆ それぞれ素晴らしいプレゼンだった。どの本も読みたくなった。(40代)
- ☆ 本に対する熱が高かった。(60代)
- ☆ その本を読んだきっかけや感想をうまく発表されていて感心した。(70代)



バトラーと司会・タイマー係の皆さん



チャンプの中西さん☆

準チャンプの桂さん★

■ 科学講座「マイナス200℃の世界」 8/3(土) 10:00～ 南部図書館 34名参加

毎年好評の夏休み企画。サイエンスヒルズの貝田明先生を講師に、液体窒素を使った実験を実施。この他、南部では、「こども映写会」(8/7(45名)・21)や、夏休み期間中、「シールラリー」を実施。

■ 8月のテーマ展示

- ・ ぼぼんぼんぼんレッツお盆…日本のお盆や、世界のお盆に似た風習、祭りについての本を紹介
 - ・ あつまれ！みんなのおすすめ本…これまでに寄せられたおすすめ本の感想、イラストを本と共に紹介
 - ・ 宿題をやっつけろ！…夏休みの課題に役立つ本を集めた。調べる学習コンクール受賞作品も同時紹介
- この他、「冬まっただなか！ 南半球を知ろう」のSDGs関係の本も引き続き展示している。

H31（R1）年度全国学力・学習状況調査の結果について

小松市教育委員会

平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。市教育委員会では、結果を公表することで、地域の皆様に本市の子供たちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの健全な育成を図っていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願いします。

- 1 参加校
小学校 23校／23校 中学校 10校／10校

2 対象学年・教科・調査者総数

① 教科に関する調査

対象学年	調査教科	調査者総数
小学校 第6学年	国語	987人
	算数	990人
中学校 第3学年	国語	911人
	数学	912人
	英語	912人

国語、算数・数学、英語の出題内容は、
それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりである

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に出題

② 質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

対象学年	調査者総数
小学校第6学年	989人
中学校第3学年	913人

- ・学校に対する調査（学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

対象学校	調査学校数
小学校	23校
中学校	10校

3 小学校の状況

① 教科に関する調査の状況

小学校の状況

	石川県	全国
国語	やや下回る	大きく上回る
算数	やや下回る	上回る

今年度より、国語、算数とも「知識」「活用」を一体とした調査問題となりました。

全国との比較においては、国語は全国を大きく上回り、算数は全国を上回る結果となりました。

県との比較においては、国語、算数とも県をやや下回る結果となり、記述式の設問において課題が見られます。

② 設問から見える成果と課題 (◎…良好なもの △…課題となるもの)

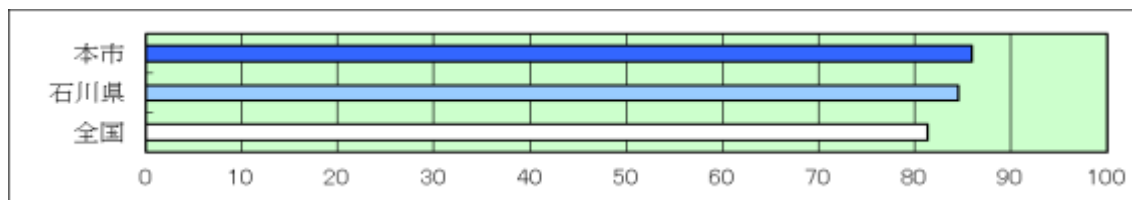
国語
◎目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと。 ◎話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問として適切なものを選択すること。 ◎目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。 △漢字を文の中で正しく使うこと。(かんしんをもってもらいたい) △漢字を文の中で正しく使うこと。(調査のたいしょう) △目的や意図に応じて、自分の考えを明確にし、まとめて書くこと。【記述式】
算数
◎棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること。 ◎台形についての理解。 ◎目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすこと。 △示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること。【記述式】 △示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること。【記述式】 △示された除法の式の意味の理解。

③ 質問紙調査から見てきた小松市の児童の様子

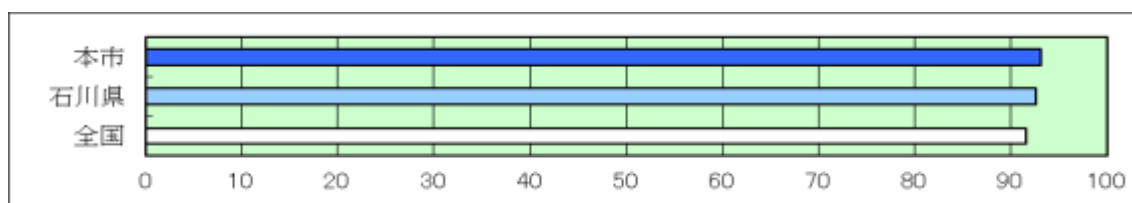
(凡例のないグラフは、質問事項に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童の割合を示しています。)

< 基本的生活習慣 >

◇毎日、同じくらいの時刻に寝ている

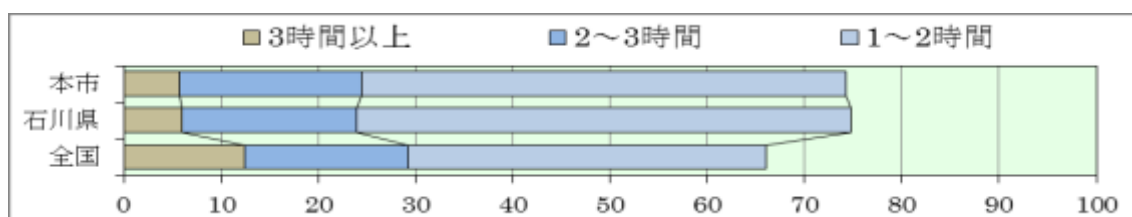


◇毎日、同じくらいの時刻に起きている

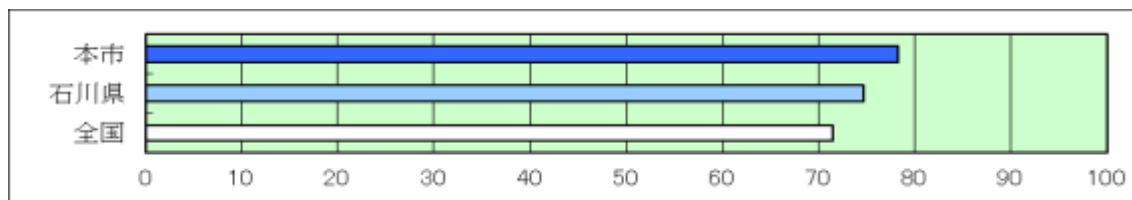


< 学習時間等 >

◇普段（月～金曜日）、1日当たりの勉強時間

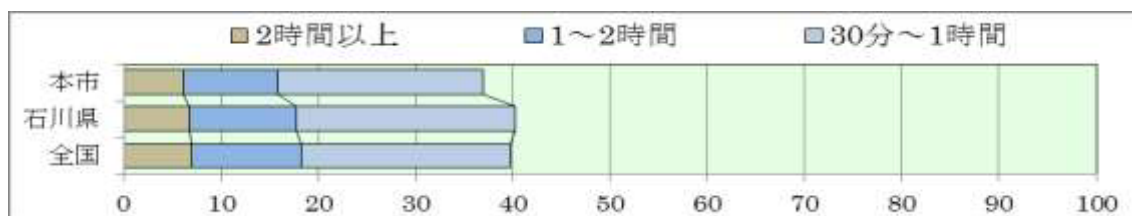


◇家で、自分で計画を立てて勉強をしている

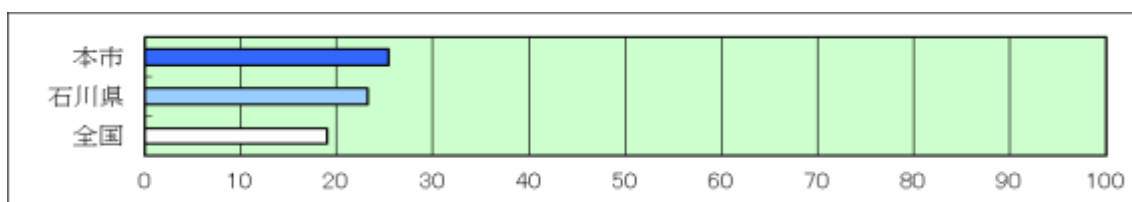


< 読書・新聞 >

◇普段、1日当たりの読書の時間

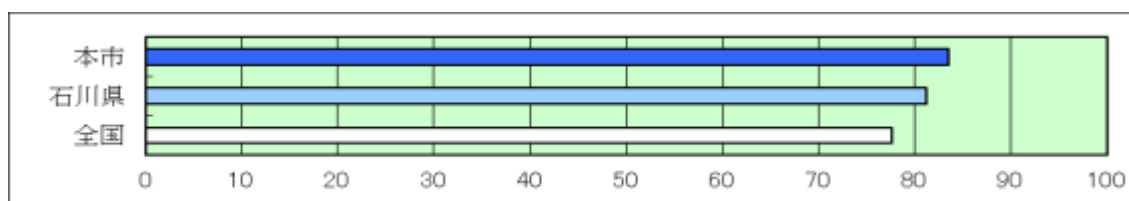


◇新聞を読んでいる（週1回以上）



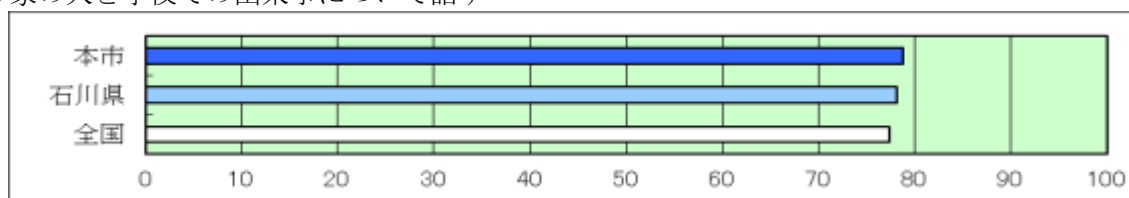
<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善>

◇授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



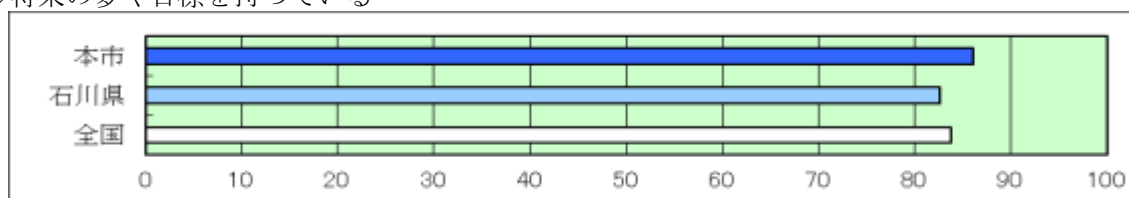
<家庭でのコミュニケーション>

◇家の人と学校での出来事について話す

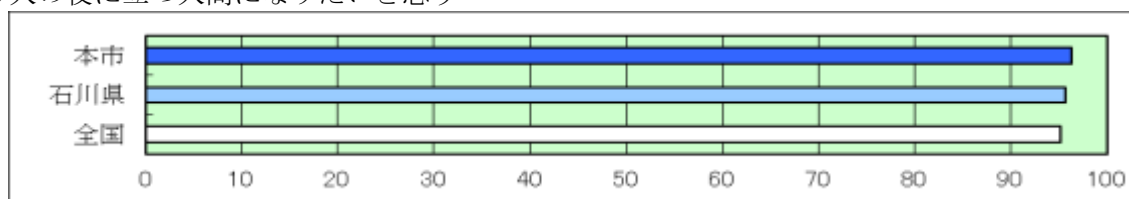


<将来>

◇将来の夢や目標を持っている

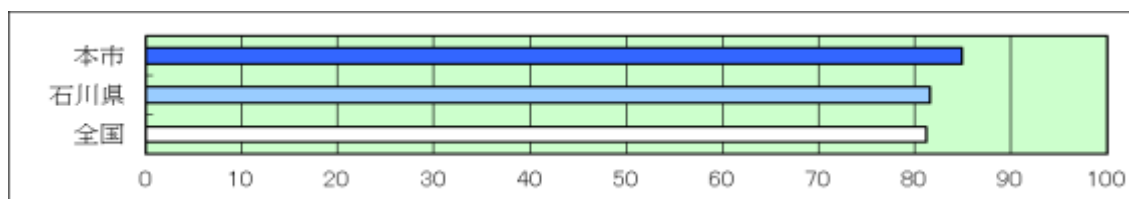


◇人の役に立つ人間になりたいと思う



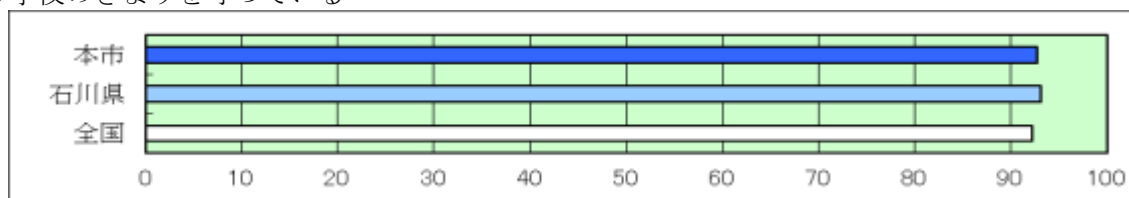
<自尊意識>

◇自分には、よいところがあると思う

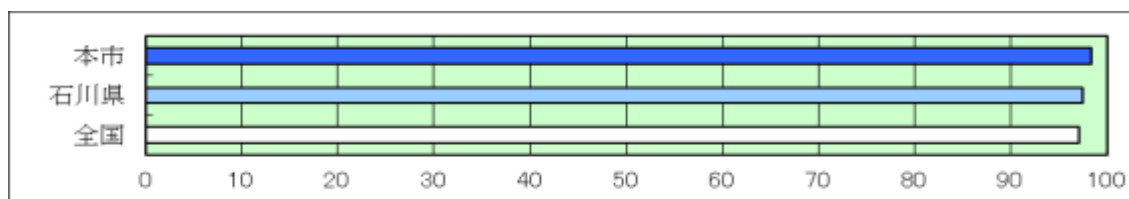


<規範意識>

◇学校のきまりを守っている



◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



4 中学校の状況

① 教科に関する調査の状況

中学校の状況

	石川県	全国
国語	平均並み	上回る
数学	平均並み	大きく上回る
英語	やや下回る	平均並み

今年度より、国語、数学において「知識」「活用」を一体とした調査問題となりました。

国語、数学については、県と同程度で、国語は全国を上回り、数学は全国を大きく上回る結果となりました。

初めて実施された英語については、県をやや下回り、全国と同程度という結果となりました。

どの教科においても記述式の設問において課題が見られます。

② 設問から見える成果と課題 (◎…良好なもの △…課題となるもの)

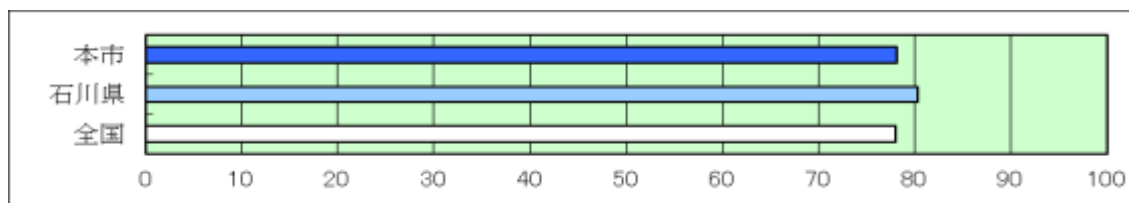
国語
◎文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもち、書くこと。【記述式】 ◎書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること。 ◎話合いの話題や方向を捉えること。 △封筒の書き方を理解して書くこと。 △話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを書くこと。【記述式】 △文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。
数学
◎平行移動の意味の理解。 ◎反例の意味の理解。 ◎証明の根拠として用いられている三角形の合同条件の理解。 △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。【記述式】 △グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈すること。 △資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。【記述式】
英語
◎語と語の連結による音変化を捉えて、情報を正確に聞き取ること。 ◎教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ること。 ◎まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解すること。 △与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと。【記述式】 △聞いて把握した内容について、適切に応じること【記述式】 △書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えること。【記述式】

③ 質問紙調査から見てきた小松市の生徒の様子

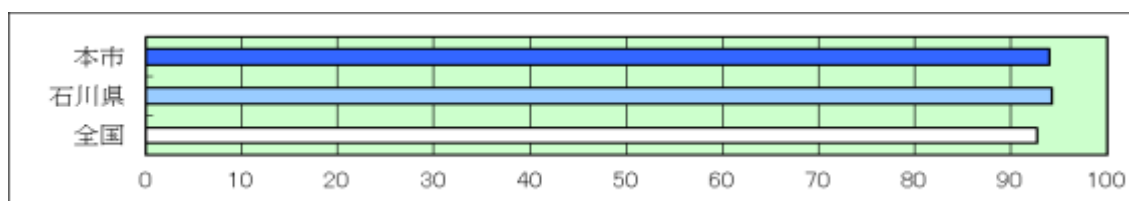
(凡例のないグラフは、質問事項に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している生徒の割合を示しています。)

<基本的生活習慣>

◇毎日、同じくらいの時刻に寝ている

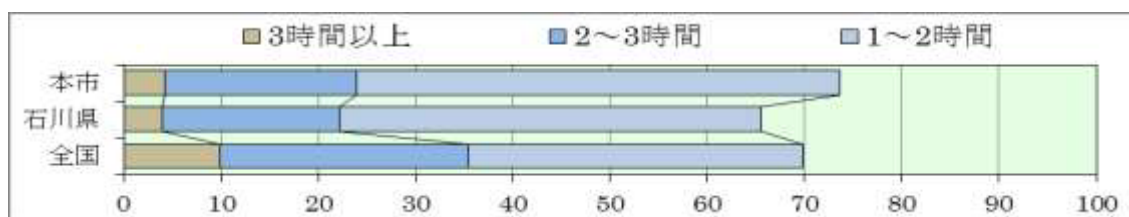


◇毎日、同じくらいの時刻に起きている

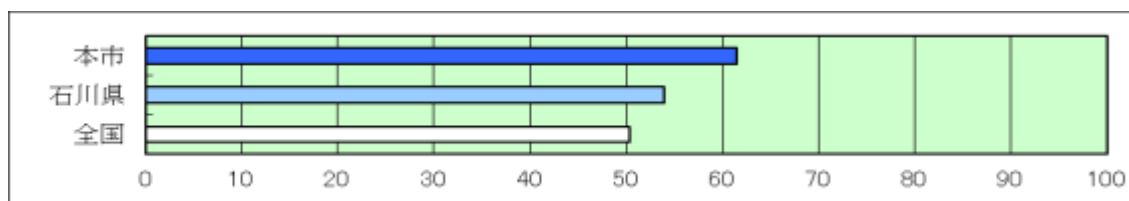


<家庭学習>

◇普段（月～金曜日）、1日当たりの勉強時間



◇家で、自分で計画を立てて勉強をしている

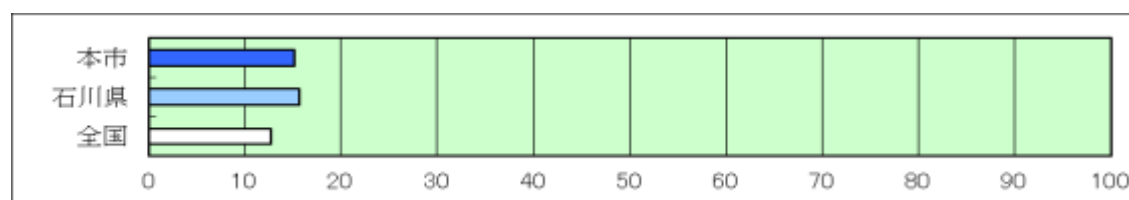


<読書・新聞>

◇普段、1日当たりの読書の時間

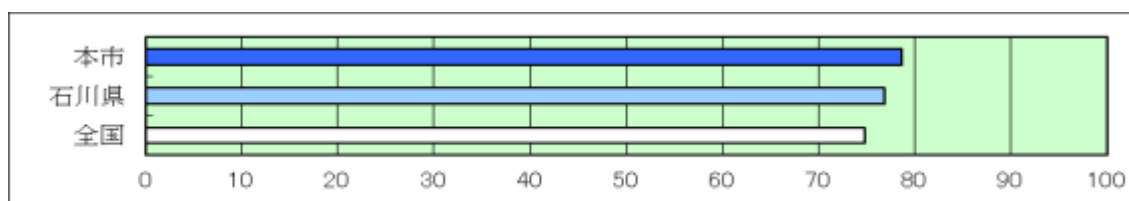


◇新聞を読んでいる（週1回以上）



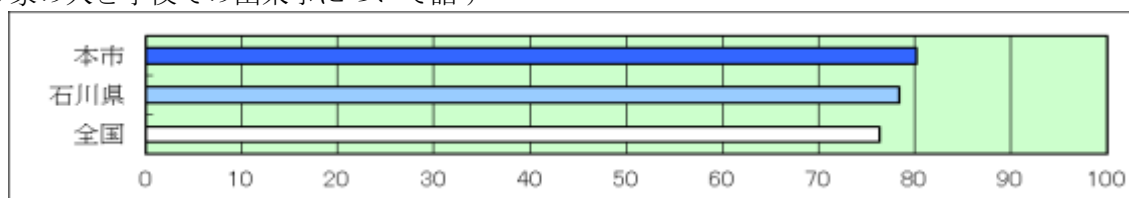
<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善>

◇授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



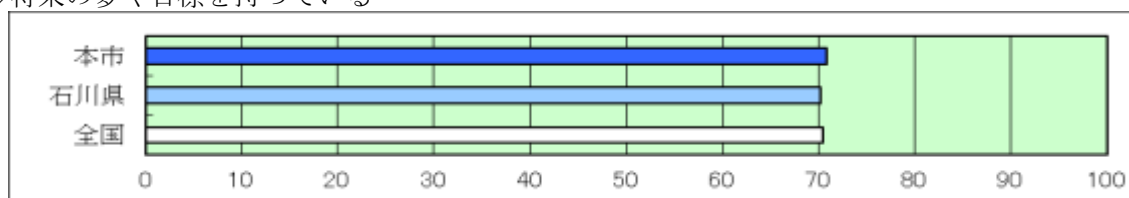
<家庭でのコミュニケーション>

◇家の人と学校での出来事について話す

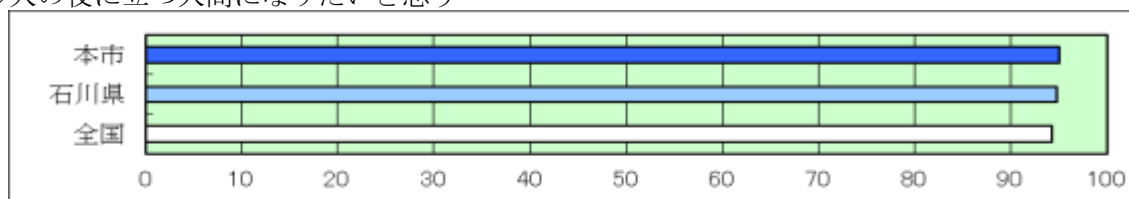


<将来>

◇将来の夢や目標を持っている

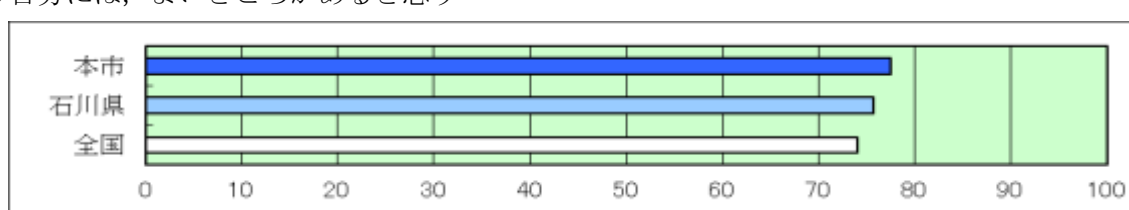


◇人の役に立つ人間になりたいと思う



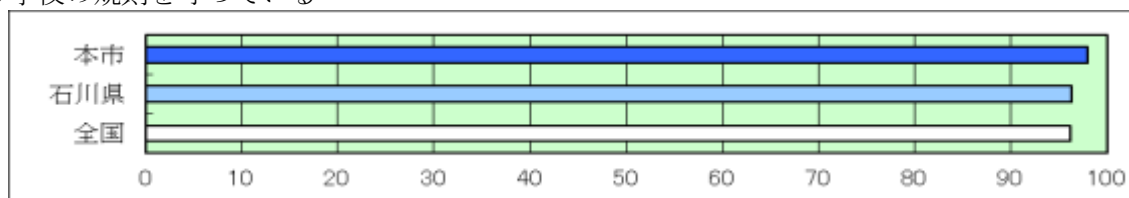
<自尊意識>

◇自分には、よいところがあると思う

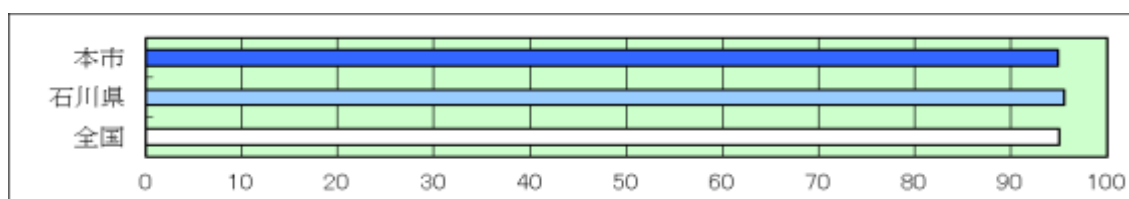


<規範意識>

◇学校の規則を守っている



◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



令和2年度小松市学校給食調理等業務委託業者の決定について

公募型プロポーザル方式による令和2年度小松市学校給食調理等業務委託業者選考審査会を、令和元年7月30日（火）に開催し、提案書に基づくプレゼンテーション及びヒアリングを行いました。

自校給食調理業務の実績のほか、有資格者・経験者の配置、不測の事態に備えた人員確保やサポート体制、衛生管理に関するマニュアルの整備、きめ細やかな食物アレルギー対応などを審査し、総合的に高い評価を得た下記の2業者を選定しました。

【区分1】

- 1 委託対象校 芦城小学校、第一小学校、日末小学校、芦城中学校、御幸中学校、南部中学校
- 2 委託期間 令和2年4月1日から5年間
- 3 参加業者及び審査結果

事業者名	本社所在地	審査結果
株式会社ニッコトラスト	東京都中央区日本橋堀留町2-4-3	決定
株式会社ジーエスエフ	東京都新宿区西新宿3-20-2	

4 委託事業者について

- (1) 事業者名 株式会社ニッコトラスト（代表取締役 若生喜晴）
- (2) 学校給食受託実績（令和元年度）
自校調理方式（親子方式含む）…187校（94,339食）
県内…小松市立小中学校11校、金沢市学校給食東部共同調理場

【区分2】

- 1 委託対象校 稚松小学校、犬丸小学校、串小学校、矢田野小学校、能美小学校
- 2 委託期間 令和2年4月1日から3年間
- 3 参加業者及び審査結果

事業者名	本社所在地	審査結果
株式会社ジーエスエフ	東京都新宿区西新宿3-20-2	決定
株式会社メフォス	東京都港区赤坂2-23-1	

4 委託事業者について

- (1) 事業者名 株式会社ジーエフエス（代表取締役 善田高志）
- (2) 学校給食受託実績（令和元年度）
自校調理方式（親子方式含む）…87校（53,679食）
県内…小松市立小中学校4校、野々市市小学校給食センター、
野々市市中学校給食センター

つながる×化ける

小松市立高等学校 日本大学芸術学部

夏のSpecial合同授業

2019年 **8月20日(火)・21日(水)**

@小松市立高等学校

高校×大学、石川県小松市×東京都練馬区江古田、音楽専攻×美術専攻、小松の石×九谷焼
新しい組合せが、新しいつながりが、新しい何かを生み出す！

新しい何かに化ける！

きっと誰もが想像を超える新体験授業です。

体験授業① **8月20日(火) 9:00～16:00**

《動画&静止画カメラマン先生たちによる撮影授業》

～カッコいいスマホ撮影と映える高校生活の撮り方ワークショップ～
日本大学芸術学部 写真学科 田中里実准教授 × 放送学科 安部裕准教授

体験授業② **8月21日(水) 9:00～12:00**

《楽器をつくる×楽器を奏でる授業》

～小松ならではの石と九谷焼から生み出すアースミュージックワークショップ～
日本大学芸術学部 音楽学科 川上央教授 × 美術学科 鞍掛純一教授

体験授業③ **8月21日(水) 13:00～15:00**

大学ってどんなところ？この町ってどんなところ？みんなの未来って？

《フリートークセッション》

小松市立高校の皆さん × 日本大学芸術学部の先生や学生たち

小松市立高校 体験入学について

- 1 日 時 令和元年8月23日（金） 13：00～16：30
(部活動体験をしない生徒の終了時間は、15：30)

- 2 場 所 小松市立高等学校

- 3 日程

	時間帯
受付	13：00～13：35
オリエンテーション	13：35～13：40
ミニコンサート	13：40～13：50
在校生による学校紹介	13：50～14：05
授業体験①（30分）	14：15～14：45
授業体験②（30分）	15：55～15：25
アンケート	15：25～15：30
部活動体験（希望者）	15：40～16：30

- 4 授業体験 下記より2つの授業を体験（⑦⑧の芸術科目は1科目のみ）

番号	授業名	実施教科	内 容
①	漢文に触れよう！	国 語	故事成語を本文から理解しよう
②	「地歴公民」の世界によろこ	地歴公民	高校で細分化される「社会」科を体験
③	2進数の数学	数 学	身の回りに生きる数学を紹介！
④	科学の不思議	理 科	生活の中にある科学の不思議を探究
⑤	Communication English	英 語	高校の英語に触れてみよう！
⑥	美術－みんなで描こう！	美 術	油絵の具、日本画材料を使った制作体験！
⑦	音楽－みんなで歌おう！	音 楽	～J-POPS～ 合唱とミニコンサート

- 5 部活動体験 下記の部活動で体験入部または見学ができます。

運 動 部		文 化 部	
野 球	体験可	合 唱	体験可
ソフトテニス（男女）	体験可	吹 奏 楽	体験可
ハンドボール（女）	体験可	美 術	体験可
バレーボール（女）	体験可	邦 楽	体験可
バスケット（男女）	体験可	茶 道	体験可
陸 上 競 技	体験可	華 道	体験可
カ ヌ ー	説明会	書 道	説明会
		放 送	体験可

- 6 参加予定人数 512名 （うち 小松市内 251人）

子育てセンターの指定管理について

1. 指定管理者を選定する施設及び選定方法

クラブ名	実施場所	運営団体	選定方法
符津児童クラブ (符津教室)	小松市立 符津子育てセンター	符津学童クラブ協議会	選考

2. 指定期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日

3. スケジュール（予定）

10月 指定管理者選定会

12月 指定の議決

4月 事業開始

○小松市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例第2条第2項の規定により、指定管理者の指定を受けようとする団体を選考により選定することとする。

4. 現状

現在、小松市内には37の放課後児童クラブがある。

指定管理団体 12クラブ

交付金団体 24クラブ

市直営 1クラブ

令和元年度グッドマナーキャンペーンについて

1. 趣旨

- ・市、学校、心の教育を推進する団体が連携・協力しながら、まず大人が規範となり、青少年に公共マナーの大切さや交通ルールへの遵守をよびかける。
- ・「心の教育推進協議会」（事務局 石川県教育委員会 生涯学習課内）が主催するグッドマナーキャンペーンに賛同し、小松市内においても一斉に活動することで、青少年健全育成推進の気運を高める。

2. 小学校の取組

- ・ウォームアップ週間～9月末を中心に、各学校の実状に合わせて交通指導・挨拶運動を行う。
- ・市民運動として取り組んでいる「早寝早起き朝ごはん運動」「グッドマナーこまつ」との連携のもと、マナーや生活リズムの向上を呼びかける。

3. 中学校の取組

- ・9月17日（火）～9月20日（金）を強化週間とし、PTA・市民団体と協力し、各中学校区にある主な交差点や校門周辺で交通指導と挨拶運動を行う。
実施時間帯 7:30～8:00
- ・生徒（会）が自主的・積極的に挨拶運動に参加するよう指導する。

4. 高等学校の取組

- ・9月17日（火）～9月20日（金）を強化週間とし、PTA・市民団体と協力し、市内3駅・各高等学校付近の主な交差点や校門周辺で交通指導と挨拶運動を行う。
実施時間帯 7:45～8:15
- ・生徒（会）が自主的・積極的に挨拶運動に参加するよう指導する。

5. 市内協力団体の取組（中学校・高等学校と連携）

- ・中学校・高等学校の強化週間に併せ、連携して市内3駅及び各中学校・高等学校区内にある主な交差点や校門で交通指導・挨拶運動を行う。

6. その他

各小・中・高等学校において、9月末までのぼり旗を設置する。

サイエンスヒルズこまつ ひととものづくり科学館 報告(7月分)

■主なイベントから

7月7日(日) 10:00～ 12:00～ 参加214人 3Dスタジオ	七夕コンサート 「星に願いを ～ウクレレの音色とともに～」 rikuya(石川高専4年) 世界的なコンクールでティーンズ部門優勝の中村陸也さんのウクレレ演奏。プラネタリウムに映し出される宇宙を背に若いエネルギーが満ちたコンサートであった。	
---	---	---

■体験教室(外部講師)から

7月7日(日) 7月21日(日) 参加40人(2日)	・カルシウム・マグネシウムの不思議をさぐる ・実物付き周期律表をつくろう 四ヶ浦弘氏(金沢市) 「金属について知る」5回シリーズの教室。高度な内容であるがリピーター多く、キャンセルがほとんどない。	
7月22日(月) 参加52人(2回)	回転のぼり虫くんと虹のシートで遊ぼう 宇敷輝男氏(沼津市) 20年改良を重ねた作品。手づくり作品のネタをたくさん持つ。	
7月23日(火) 参加35人	電気エネルギーを考えよう ムラタセイサク君の実演見学 小松村田製作所 年間3回、電子工作の教室とムラタセイサク君の実演をみせていただいている。	
7月24・25日 参加39人(2回)	親子で参加！ダンゴムシで迷路実験!! 大淵 希郷氏(神戸市) 迷路をつくり、ダンゴムシの習性を調べる。自由研究に発展するヒントを提示いただいた。	
7月27・28日 参加43人(2回)	空気抵抗と計上の関係を学ぶ「空力ボディ」 トヨタ自動車(株)(愛知県) 車の製作を通して空気抵抗を考える。どうしたら抵抗の小さい車が作れるか思考と集中する姿が見られた。	
7月28日(日) 参加13人	ペーパークロマトグラフィーで遊ぼう! 石川県立大 中谷内 修氏 水性ペンのクロマトグラフィー。紙の形を工夫し、様々な模様挑戦。年間6回いろいろな教室を提供いただいている。	

■その他

7月6日19:30～ 13、14日19:00～ 3回：86人	3Dスタジオ 夜間上映に挑戦 + スターウォッチング 七夕に因み「七夕の夜」、夜空に輝く惑星に因み「木星vs土星」スターウォッチングも合わせて計画したが6日のみ開催。	
7月20, 21, 27, 28日 10:00～12:00 14:00～16:00 51人	自由研究相談会(前半) & 優秀科学作品展示 スタッフの他、教員OBや指導主事の協力を得て1日2コマ、計8回開催。(公立小松大の先生方は後半で)	
7月24日、31日 120人(2回)	ペッパーとラジオ体操 今江町南地区、月津町地区 ペッパーが地域の朝のラジオ体操に参加し体操をリード、その後子どもたちとペッパーとのふれあいも体験した。	
7月24日(水) 9:30～11:30 45人(10中学校)	中学生サイエンスチャレンジ研修 県の予選に向けて、中学生が集まり課題「パラシュートと発射装置を制作し滞空時間を競う」にそって製作。	
7月27日(日) 13:00～15:00 8ペア16人	小松高校 SSH韓国科学交流 小松高校と交流する韓国の高校生とがペアでやや高度なレゴプログラミングにとりくむ。会話は英語で。	

■今後の予定から

9月22日	プラネ講座「実験で楽しむ銀河鉄道の夜」	四ヶ浦弘氏
9月23日	プラネ講座「二人の銀河鉄道 賢治と嘉内の青春」	高橋真理子氏